

中小企業景況調査報告

(第4四半期)

2020年1月～3月期実績

2020年4月～6月期予測

2019年度、当福山北商工会は中小企業庁が公表する「経営発達支援計画」の認定をうけました。その事業として、管内事業所の景況調査を実施し基礎データとして公表いたします。

1.調査要領

(1) 福山北商工会 管内地域基本情報

福山北商工会管内（駅家町、加茂町、山野町）事業者数は、平成30年度版統計ふくやまによると1,294社であり、内訳は建設業157件 製造業267件、小売・サービス業その他870件である。

(2) 調査対象

対象地区・・・・・・・・駅家町、加茂町、山野町

対象企業・・・・・・・・15社

*製造業3社、建設業2社、小売業5社、サービス業5社

(3) 調査方法

経営指導員による訪問面談及び聞き取り調査

(4) 調査機関

2020年1月～3月期実施

(5) 調査時点

2020年3月1日

(6) DI=ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）とは

前年同期に比べて「増加（上昇・好転）」―「減少（低下・悪化）」の回答企業の比率。

例えば、売上高の前年同期比で「増加」の回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、DIは $50 - 20 = (+) 30$ となり、売上高の面では、「増加（上昇・好転）」気運であることを表す。

2.福山北商工会地域の状況

全業種の業況（今期の状況、次期の見通し）*DI値のみ

業種	今期の状況 (2020年1月～3月)		次期の見通し (2020年4月～6月)
	前年同期 (2019年1月～3月)に比べて	前期 (2019年10月～12月)に比べて	次期 (2020年1月～3月)に比べて 来期の見通し
製造業	▲66.7	±0	±0
建設業	±0	±0	±0
小売業	±0	±0	±0
サービス業	±0	±0	±0

製造業

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数3社

項目	状況	今期の状況 (2020年1月～3月)		次期の見通し (2020年4月～6月)
		前年同期 (2019年1月～3月)に比べて	前期 (2019年10月～12月)に比べて	次期 (2020年1月～3月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	1	3	3
	悪化	2	0	0
	D・I	▲66.7	±0	±0
売上 (加工)額	増加	3	0	/
	不変	0	1	
	減少	0	2	
	D・I	▲100	▲66.7	
売上 (加工)単価	増加	0	0	/
	不変	1	1	
	減少	2	2	
	D・I	▲66.7	▲66.7	
売上 (加工)数量	増加	0	0	/
	不変	0	1	
	減少	3	2	
	D・I	▲100	▲66.7	
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	3	3	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
原材料 仕入単価	上昇	0	/	/
	不変	1		
	低下	2		
	D・I	▲66.7		
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	3		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答事業所の内、設備実施無し。

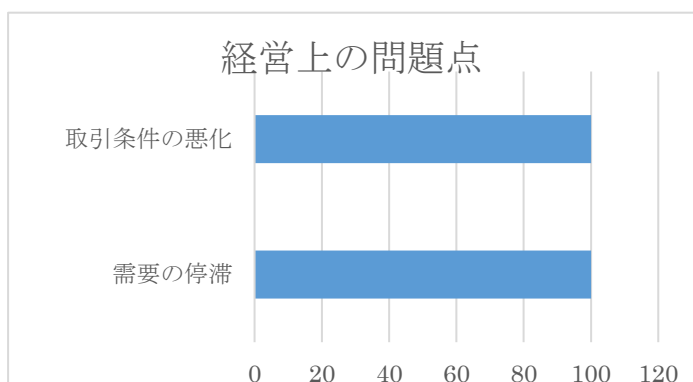
【来期計画内容】

回答事業所の内、計画は未定。



○今期の経営上の問題点

今期は、「取引条件の悪化」や「需要の停滞」などの意見を多くいただいた。



建設業 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数2社

項目	状況	今期の状況 (2020年1月～3月)		次期の見通し (2020年4月～6月)
		前年同期 (2019年1月～3月)に比べて	前期 (2019年10月～12月)に比べて	次期 (2020年1月～3月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	2	2	2
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
完成工事 (請負工事)額	増加	1	1	/
	不変	1	1	
	減少	0	0	
	D・I	50.0	50.0	
受注 (新規契約工事)額	増加	0	/	/
	不変	1		
	減少	1		
	D・I	▲50.0		
材料仕入単価	増加	1	/	/
	不変	1		
	減少	0		
	D・I	50.0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	2	2	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	2		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答事業所の内、設備実施無し。

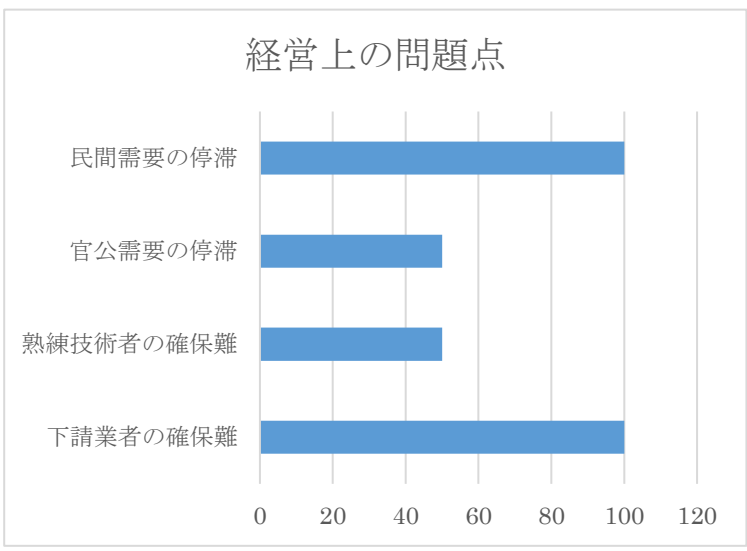
【来期計画内容】

回答事業所の内、計画は未定。



○今期の経営上の問題点

今回は、「民間需要の停滞」や「下請業者の確保難」が多く、続いて「官公需要の停滞」や「熟練技術者の確保難」の意見をいただいた。



小売業 主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 5 社

項目	状況	今期の状況 (2020年1月～3月)		次期の見通し (2020年4月～6月)
		前年同期 (2019年1月～3月)に比べて	前期 (2019年10月～12月)に比べて	次期 (2020年1月～3月)に比べて 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	5	5	5
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上額	増加	1	0	/
	不変	3	4	
	減少	1	1	
	D・I	±0	▲20.0	
客単価	上昇	0	0	/
	不変	5	5	
	低下	0	0	
	D・I	±0	±0	
商品仕入単価	上昇	0	/	/
	不変	5		
	低下	0		
	D・I	±0		
商品仕入額	増加	0	/	/
	不変	5		
	減少	0		
	D・I	±0		
商品在庫数量	増加	0	/	/
	不変	5		
	減少	0		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	5	5	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	5		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

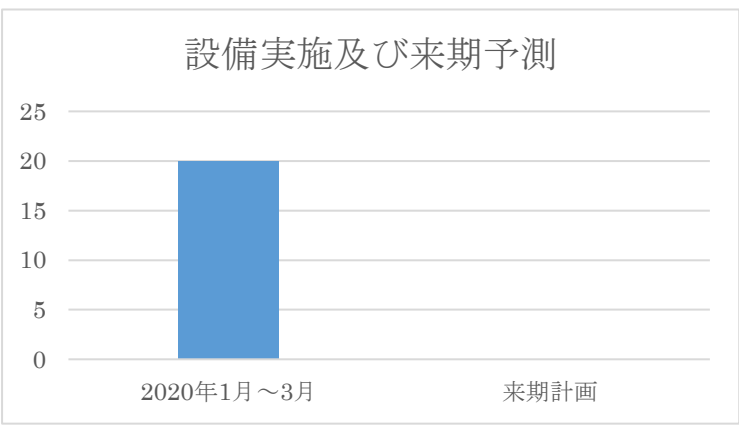
【今期実施内容】

回答事業所の内、実施は 20%。

●OA 機器 = 20%

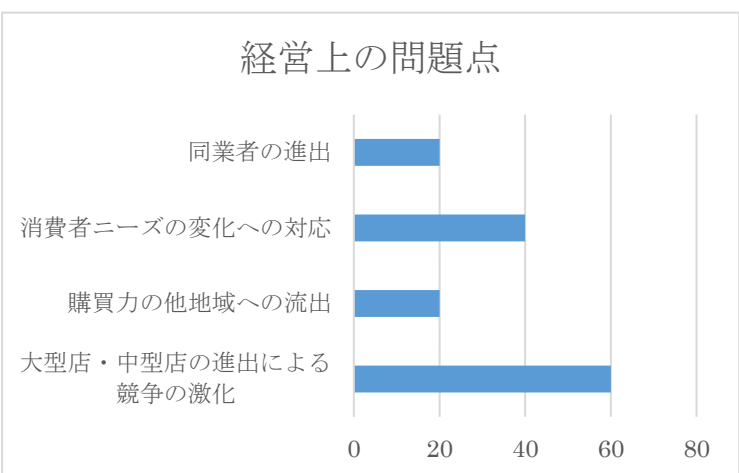
【来期計画内容】

回答事業所の内、計画は未定。



○今期の経営上の問題点

今回の調査において、「大型店・中型店の進出による競争の激化」がもっとも多く事業所より意見をいただいた。また、消費者ニーズの変化への対応や購買力の他地域への流出など、需要の変化への対応が迫られる。



サービス業

主要景況項目の推移（今期の状況、次期の見通し）回答事業者数 5 社

項目	状況	今期の状況 (2020年1月～3月)		次期の見通し (2020年4月～6月)
		前年同期 (2019年1月～3月)に比べて	前期 (2019年10月～12月)に比べて	次期 (2020年1月～3月)に比べた 来期の見通し
業況	好転	0	0	0
	不変	5	5	5
	悪化	0	0	0
	D・I	±0	±0	±0
売上(収入)額	増加	2	0	/
	不変	3	5	
	減少	0	0	
	D・I	40.0	±0	
客単価	上昇	1	0	/
	不変	4	5	
	低下	0	0	
	D・I	20.0	±0	
仕入単価(材料等)	上昇	0	/	/
	不変	5		
	低下	0		
	D・I	±0		
資金繰り	好転	0	0	/
	不変	5	5	
	悪化	0	0	
	D・I	±0	±0	
採算 (経常利益)	好転	0	/	/
	不変	5		
	悪化	0		
	D・I	±0		

○設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答事業所の内、今期実施は無し。

【来期計画内容】

回答事業所の内、来期実施は未定。



○今期の経営上の問題点

今回は「利用者のニーズの変化への対応」が多く、大企業の進出や新規参入者などが続き、人件費の増加などの問題点をあげられた。

